

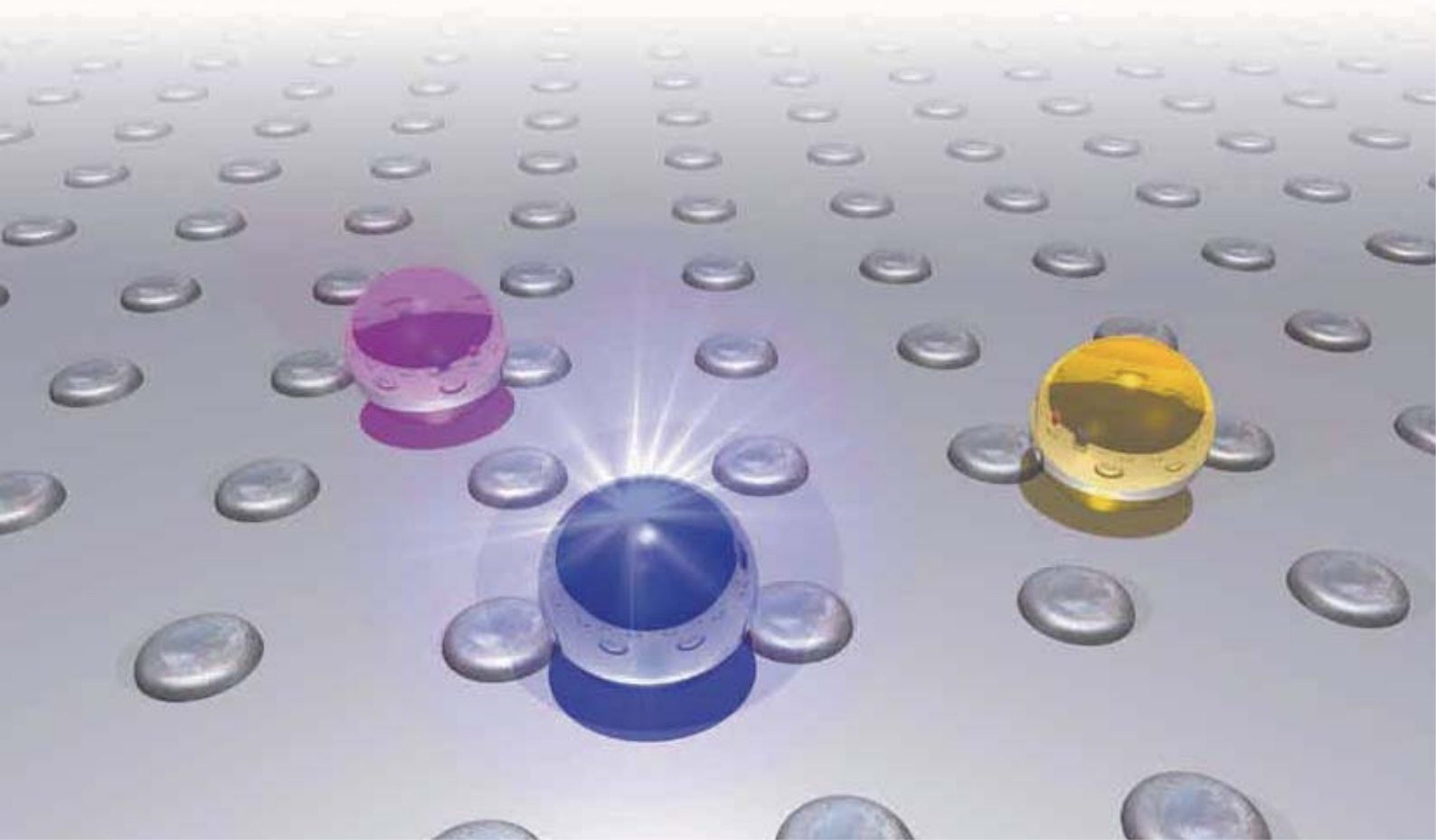
一般社団法人 **栃木県診療放射線技師会会誌**

JOURNAL OF TOCHIGI ASSOCIATION OF RADIOLOGIC TECHNOLOGISTS



TART

TOCHIGI ASSOCIATION OF RADIOLOGIC TECHNOLOGISTS



Contents

■巻頭言

「新年のあいさつ」	会長 小黑 清	1
-----------	---------------	---

■報 告

平成29年度 第2回卒後教育講座開催報告	2
平成29年度 第1回第1地区卒後教育講座開催報告	4
平成29年度 第1回第2地区卒後教育講座開催報告	5
平成29年度 第1回第3地区卒後教育講座開催報告	6
平成29年度 第1回第4地区卒後教育講座開催報告	7
平成29年度 第1回第5地区卒後教育講座開催報告	8
診療放射線技師基礎技術講習「X線CT検査」開催報告	9
第5回業務拡大に伴う統一講習会開催報告	10
平成29年度 全国会長会議報告	12

■会員報告

第33回 日本診療放射線技師学術大会（函館）参加体験記	
獨協医科大学病院 瀬崎 英典 木村 友昭	14

■事務局報告

「第93回定時社員総会議事録」	15
「平成28年度第1回理事会議事録（抄）」	18
「平成28年度第2回理事会議事録（抄）」	21
「平成28年度第3回理事会議事録（抄）」	24
「平成28年度第4回理事会議事録（抄）」	27
「会の動静、会員の動静」	29
「表彰」	30
「平成29年度活動予定表」	30

■賛助・広告会員一覧	31
------------------	----

■編集後記	31
-------------	----



新年のあいさつ

一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
会 長 小 黒 清

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員みなさまにおかれましては、初春を夢と希望、さらには、ご家族の幸せを願ってお迎えのことと存じます。

旧年中、会員みなさまには、本会の活動に対し、格別のご支援を賜り厚く感謝申し上げます。本年も役員一同、みなさまに満足いただける技師会活動を心掛ける所存です。何とぞ昨年同様にご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、私も会長に就任して三度目の新年を迎えました。会長の役目として、栃木県診療放射線技師会の運営だけではなく、日本診療放射線技師会のいろいろな情報を会員みなさまにいち早く提供して、理解していただくことも重要だと思っています。

そこで、私から昨年9月23日に函館で開催された全国会長会議の内容について、いくつか報告させていただきます。

はじめに、「柔道整復師法一部改正法案に対する反対表明決議について」です。

昨年末の日本診療放射線技師会誌12月号の巻頭言で初めて知った方も多いと思いますが、柔道整復師が診療放射線業務を行いたいということで、第193回通常国会開催中に日本維新の会から「柔道整復師法の一部を改正する法律案」が議案として提出されました。

受験資格に放射線衛生学、エックス線撮影技術学、放射線安全管理学を加えることで、脱臼又は骨折の状態を確認する撮影のためのエックス線照射を行うことができるという改正案であります。これを受けて日本診療放射線技師会は、臨時理事会を開催し、反対表明決議を厚生労働省に提出しました。

私たち診療放射線技師の業務は、医師法第17条の「医行為」に該当する業務であり、それゆえに診療放射線技師法は、医師、歯科医師、診療放射線技師以外のすべての者に対し、放射線を人体に照射することを業とすることを禁止しています。

このような日本維新の会の動きに対しては、技師会の会員一同が志を一つにして反対運動を展開していく必要があります。もし、与党が法案に賛成すれば法案は国会を通過し成立してしまいます。会員一人一人が危機感を持っていただきたい。法案成立を阻止するためには政治の力が必要であり、日本診療放射線技師連盟に入会していただき自分たちの職業を守るという気持ちをもっていただきたいと思っています。将来を担う、若手診療放射線技師のためにも戦いが必要です。

日本診療放射線技師連盟は、診療放射線技師職の地位向上と職域拡大を目指して発足しました。日本診療放射線技師会と連携・連帯しながら、国民の健康と福祉の増進、質の高い医療を提供していくための政策を提案し、関係省庁・関連団体に働きかけます。国会議員に説明に行くにも、活動費が必要になります。しかし、現在日本診療放射線技師連盟の会員数が少ないた

め活動費が足りません。診療放射線技師連盟の会費は、年間2,000円です。ぜひ、ご理解のうえ、会員のみなさんに入会していただきたいと思っています。

次に、「医療被ばく低減施設認定取得への協力について」です。

日本診療放射線技師会では「安心できる放射線診療」を国民のみなさまへ提供するための事業として、医療被ばく低減施設の認定を行っています。

日本診療放射線技師会では、各県に5施設は、医療被ばく低減施設を認定したいそうです。平成32年までに各県で3～5施設の認定施設があれば、診療報酬改定で加算を考慮するとの動きがあります。

認定には認定料が掛かりますので、2年計画で施設認定の取得を進めていただきたいと考えているそうです。ぜひ、みなさんの施設でも認定取得を目指していただきたいと思っています。

最後に、「業務拡大に伴う統一講習会の受講について」です。

現在までの全国での会員受講率は31.93%です。今後は受講者が5名でも10名でも講習会を行っていき、受講率100%を目指したいそうです。ちなみに、栃木県では現時点での会員受講率は、52.8%となります。まだ受講していない会員の方に統一講習会を受講するように声かけをしていただき、栃木県としても100%を目指したいと思っています。

以上、全国会長会議の内容について報告させていただきました。

栃木県診療放射線技師会では、「わかりやすい技師会」を目指し会員みなさまに対してホームページやメーリングリストによる最新情報の提供をまいりました。今年は、4月に診療報酬改定があります。放射線関係の診療報酬がどのようになるか非常に気になります。そこで、2月に平成30年診療報酬改定の研修会を予定しています。またホームページのリニューアルについて4月を目標に準備を行っていますので、さらに充実した情報提供ができると考えております。

今年は、戌年です。ボールを投げると一心不乱にボールを追いかける犬のように、本会も目標に向かって真つすぐに走っていききたいと思います。

会員みなさまとともに本会の更なる発展と診療放射線技師の地位向上に貢献するために、会員による会員のための事業を中心に、これからも役員一同頑張っていく所存です。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

栃木県診療放射線技師会ホームページ

<http://www.tartnet.com/>

検索

ぜひ一度ご覧ください。

平成29年度 第2回卒後教育講座 開催報告

日 時：平成29年11月11日(土) 午後3時～

会 場：獨協医科大学病院 教育医療棟6階 シミュレーション講義室Ⅰ

参加人数：66名（会員57名、非会員1名、新卒者2名、学生6名）

内 容：演題1：「画像診断学の基礎—心血管—」

〈講師〉国際医療福祉大学 保健医療学部 放射線・情報科学科
准教授 樋口 清孝 先生

演題2：「デジタル画像のモニタ表示 DICOM PART14」

〈講師〉富士フイルムメディカル株式会社 MS部 販売促進グループ
東日本MSセンター 浅野 省二 先生

演題3：「医用画像表示用モニタの品質管理」

〈講師〉EIZO株式会社 営業1部 メディカル課
油 隆寛 先生



開会の挨拶をする小黑清会長

平成29年度第2回卒後教育講座が11月11日(土)獨協医科大学病院に行われました。演題1は「画像診断学の基礎—心血管—」と題して、国際医療福祉大学准教授の樋口清孝先生に御講演頂きました。

虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）の病態、病理について、また coronary CT、心筋シンチの画像や病理の画像を提示しながら安定プラーク、非安定プラークの違い、不安定狭心症と急性心筋梗塞の違いについてや心電波形上の正常と心疾患時の違い、また、血液検査における心筋梗塞時のデータの推移など、先天性心疾患を含めたおもな心疾患全般について、大変わかりやすく解説して下さいました。

演題2と演題3はどちらも画像表示モニタについての講演で、まず演題2では、人間の視覚に基づいたカーブを考慮したGSDF：モニタ階調表現に関する規格としてのDICOM PART14についての内容で、従来スタンダードであったフィルム出力した画像をシャウカステンで確認した状態を基本とした階調表現を考慮していることや、様々な種類がある（輝度や性能が異なる）画像表示モニタの規格を統一しようとする規格との事でした。

演題3では医用画像表示用モニタに求められるものや、経年変化による輝度劣化を実例の画像を幾つか提示しながら詳しく解説して頂きました。モニタ診断におけるヒヤリハットは全国で年間600件程度報告があるとの事でしたが、これらはモニタの品質管理によってある程度減らす事ができ、医療安全管理の上でも重要であるとの事です。経年や使用頻度の違いなど、異なる多種のモニタを使用せざるを得ない状況にある施設におけるモニタ品質管理の重要性を再認識する良い機会となりました。



座長を務める 大橋俊之 理事



国際医療福祉大学
樋口清孝 先生



富士フイルムメディカル株式会社
浅野省二 先生



EIZO株式会社
油 隆寛 先生



平成29年度 第1回 第1地区卒後教育講座 開催報告

開催日：平成29年10月20日(金)

会場：国際医療福祉大学

参加人数：34名 [会員27名、非会員7名(新卒者1名、学生4名、他2名)]

平成29年度1回目となる第1地区卒後教育講座を10月20日(金)に国際医療福祉大学で開催しました。今回の内容は、「CT Dual EnergyによるGSIイメージング(モノクロマティックイメージング)」と今回で2回目となる「施設紹介 ―当院のギモン―」を2施設から発表していただきました。

「CT Dual EnergyによるGSIイメージング(モノクロマティックイメージング)」では、GEヘルスケア・ジャパン株式会社の紫藤尚利先生より、Dual Energyの基礎から最新技術までをわかりやすく解説していただきました。Dual Energyの技術は、臨床での使用においてはまだ限られたものではありませんが、様々な研究を行っており今後のCT検査の未来を変える大変期待できる技術であると感じさせてくれました。

「施設紹介 ―当院のギモン―」では、国際医療福祉大学病院の八板崇裕会員、国際医療福祉大学塩谷病院の瀧田修会員の2名にそれぞれの施設の紹介と普段の業務で抱えている悩みなどを発表していただきました。発表の中で統一講習会の話もあり、国際医療福祉大学病院では6割の技師が講習を修了しているとのことでした。ディスカッションでも、抜針の運用について議論が交わされ、各施設で情報共有できたことは非常に有意義であったと感じました。

今回で2回目となった「施設紹介 ―当院のギモン―」ですが、今後は県北地域の枠にこだわらず、様々な施設と交流や議論ができればと考えております。最後に、ご講演を快く引き受けていただきました、紫藤先生、八板会員、瀧田会員に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



平成29年度 第1回 第2地区卒後教育講座 開催報告

開催日：平成29年10月14日(土)

会場：獨協医科大学病院 教育医療棟6階シミュレーション講義室Ⅰ

参加人数：35名(会員35名)

テーマ：「地域医療」を進め、「地域ブランド」をつくろう～地域と施設とメーカをつなごう～

会員発表

第2地区の施設紹介「その施設どんなところ？ ～HPには載っていない本音の話～」

明倫会今市病院	高野 美登志
明倫会日光野口病院	岩上 浩忠
上都賀総合病院	斎藤 早苗
西方病院	飯島 渉
栄仁会川上病院	江連 真一
獨協医科大学日光医療センター	関口 尋子
獨協医科大学病院	只木 亜実

メーカ講演

地域医療連携システムのあるべき姿、真の医療 情報統合システムVNDMのご紹介

東芝メディカルシステムズ(株)

木村 健宏 先生

地域医療におけるキャノンが目指す方向性

キャノンマーケティングジャパン(株)

今野 俊洋 先生

STELLAR診療情報統合システムについて

アストロステージ(株)

本田 智織 先生

厳しい暑さも終わり、季節は夏から秋へと変わっていき、朝晩がやや冷え込んできた10月14日、獨協医科大学病院において第2地区卒後教育講座(第1回)が開催されました。

はじめに、会員発表として7施設の代表者による施設紹介がありました。第2地区は栃木県の北西部に位置する広い地域に16施設が点在します。そのために今回の卒後教育講座の場を借りてそれぞれの施設のHPに載っている所、載っていない所を紹介し、会員同士の情法交換を行いました。普段なかなか知ることの出来ないことを知ることが出来、とても有意義な発表となりました。

次にメーカ講演として、「地域医療」を進め、「地域ブランド」をつくろうというテーマで3社に発表していただきました。

患者様に良質な医療を提供していくには、中核病院を中心とした病診連携を実現させ、医療データや画像データを中核病院や地域の施設間で共有し、地域の病院同士が連携を図ることが必要であり、それにより、より良質で効果的かつ継続的な医療を患者

様に提供していけると考えられます。

このことにより地域連携は、医療機関の経営を左右する重要な機能と考えられます。

これからも患者様に安全で安心して暮らしていただくために、地域が連携し、日々努力していきたいです。

最後になりましたが、今回の会場を提供していただいた獨協大学病院の方々、また講演をしていただいた方々に深く感謝を申し上げます。



第2地区連絡員 岩上 浩忠

平成29年度 第1回 第3地区卒後教育講座 開催報告

日 時：平成29年11月8日(水) 午後6時30分～午後7時50分

会 場：済生会宇都宮病院グリーンホールA

参加人数：会員24名 新卒者1名 非会員1名 学生6名 医師2名

平成29年度第1回第3地区卒後教育講座を済生会宇都宮病院グリーンホールAで開催した。

参加者は会員25名、非会員1名、学生6名、医師2名の計34名の参加だった。



オープニングセッションとして、エーザイ株式会社西田様より「ガドリニウム造影剤プロハンスの安全性」について、情報を提供していただいた。

講座については、自治医科大学医学部放射線医学教室木島茂喜助教による「大腸癌検診における大腸CT～読影支援技師、認定医制度に向けた取り組みを含めて～」についてご講演いただいた。また、「AIは放射線科診断医を失業させるのか!？」についてもご講演いただいた。

会場からは、「大腸CTの画像を放射線科診断医に提供するにあたり、手技や画像再構成の際に注意すべき点は何か?」、「AIが放射線科領域に参入したときに、放射線技師はどう関わっていくべきか?」等、活発な質疑応答がなされた。



過剰診断、過剰治療に対して警鐘が鳴らされている背景において、大腸癌検診においては便潜血検査が非常に有用性が高く、放射線診断においてはCTコロノグラフィが注目されている。本県でも大腸CT研究会が立ち上がったとのことで、普及が進む可能性が示唆された。また、AIにおいては、米国でマンモグラフィ、肺、大腸CTに対してAI診断が保険適応となり、本国においても、同様の動きが展開される将来像が示された。

会場準備、受付等、支援をいただいた方

○理事（敬称略）

牧島正道（栃木県立がんセンター）

池田卓義（済生会宇都宮病院）

高橋伸彰（芳賀赤十字病院）

佐藤 宏（栃木県立がんセンター）

○幹事（敬称略）

手塚洋一（済生会宇都宮病院）

高橋 良（栃木県立がんセンター）



第3地区理事 佐 藤 宏

平成29年度 第1回 第4地区卒後教育講座 開催報告

日 時：平成29年9月28日(木) 午後6時30分～午後7時30分

会 場：足利赤十字病院 3F会議室

参加人数：31名（会員31名）

内 容：「東芝最新CT情報－最新システムと画像再構成技術－」

〈講師〉東芝メディカルシステムズ株式会社 関東支社 営業推進部

天野 清香 先生

足利赤十字病院にて、平成29年度第1回第4地区卒後教育講座が行われた。今回は東芝メディカルシステムズ株式会社、天野清香先生より、「東芝最新CT情報－最新システムと画像再構成技術」についてご講演をいただいた。

東芝メディカルのCT装置は、2016年から新しいモデルとしてGENESISが登場し、ハード面では従来のAquilion ONEの性能を上回り、かつAquilion 64列以下のガントリサイズを実現したものとなっている。寝台のスライドも左右42mmずつ可能であり、780mmの大開口径ながらもガントリのチルト角度は±30度まで傾けることができ、用途に合った撮影が可能となる。そして直接撮影範囲を視認し、16cm以下であればスキャン無しでVolume scanをできるエリアファインダ（Area Finder）という新機能も加わった。

新しい再構成技術であるFIRST（Forward projected model-based Iterative Reconstruction Solution）の紹介もされた。統計学モデルや光学モデル、解剖学的モデルといった各種モデルを用い、順投影と逆投影の繰り返し処理により、低線量で最適な画像を所得できる再構成方法である。

こういった様々な新技術の開発により、より質の高い検査を提供することが可能となった。それらをしっかり臨床に活用できるよう知識・理解を深めるための有意義な講座であった。



平成29年度 第1回 第5地区卒後教育講座 開催報告

日 時：平成29年11月9日(木) 午後6時30分～午後7時30分

会 場：一般財団法人とちぎメディカルセンターしもつが 2階 講堂

参加人数：22名（会員22名）

内 容：「MRI高速撮像法について～パラレルイメージング法から
マルチバンドシーケンス、圧縮センシング法まで～」

〈講師〉シーメンスヘルスケア株式会社MR事業部

シニアプロダクトスペシャリスト 大澤 勇一 先生

11月9日(木)、第5地区卒後教育講座（第1回）が行われました。

今回のテーマは「MRI高速撮像法について～パラレルイメージング法からマルチバンドシーケンス、圧縮センシング法まで～」でした。

MRIにおけるこれまでの高速撮影法の内容から最近話題の圧縮センシング法について、製品レベルの話から、さらには論文レベルの話まで掘り下げての内容でした。一つ一つ比較しながらとても分かり易く解説いただき、とても楽しい内容となりました。「新しい技術は新しい価値を見出す。」という言葉がとても印象的でした。

最後に、今回の会場を提供していただき準備などをお手伝いいただいたとちぎメディカルセンターしもつがの方々、また引き受けてくださった石川啓介先生、急遽講演いただいた大澤勇一先生並びにシーメンスヘルスケア株式会社の方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。



第5地区副理事 大 橋 俊 之

診療放射線技師基礎技術講習「X線CT検査」開催報告

■ 開催日：平成29年10月29日(日)

■ 会場：獨協医科大学 120番教室

■ 参加人数：65名（会員：61名 非会員：4名）



挨拶をする黒川清会長

台風22号が通過中の10月29日(日)、診療放射線技師基礎技術講習「X線CT検査」（栃木県開催）が獨協医科大学で開催され、県内61名、県外4名の計65名の参加となりました。

今回のX線CT検査基礎技術講習は、県内から

5名の講師を招いて行われました。

前半の講義は、CT装置に関する歴史、画像再構成法の基礎、最近の傾向などから始まり、撮影技術では部位や目的別に分けて技術的な内容などを詳しく解説していただきました。後半では画像表示処理や画質・性能評価・線量特性を解説していただき、被ばくを考慮した上で提供すべき画像の最適化について学ぶ機会となりました。

CT検査をする上で、最近の傾向や、全国的な動きを知る機会となり、私自身とても勉強になりました。



国際医療福祉大学
岡野員人 先生



栃木県立がんセンター
大野秀幸 先生



足利赤十字病院
桐山 岳 先生



栃木県立がんセンター
萩原芳広 先生



那須赤十字病院
中野繁明 先生

学術副部長 大 橋 俊 之

第5回業務拡大に伴う統一講習会 開催報告

日 時：平成29年7月16日(日)・17日(月) 曇り 31℃

会 場：獨協医科大学 120番教室

参加人数：43名



今回もDVDの講義と実習にて開催されました。梅雨であるが今年は雨の少ない年であり、暑さが続く日となっています。その中、43名の方に参加していただきました。統一講習会も5回目となり、参加者も減少して

いくであろうと思われる中、多くの方々に参加いただきました。

小黒会長より「診療放射線技師法が2014年6月18日に一部改正された。CT・MR検査の自動注入器による造影剤の注入と注入後の針の抜刺や止血、下部

消化管検査のネラトンチューブ挿入、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引の為にチューブ挿入などの業務拡大がなされた。この講習会は強制されるものではないが診療放射線技師の法令改正によるところで受けていただきたい。また2日間と長い時間になるが頑張してほしい」と挨拶がありました。

参加者の皆さんは、一般ですと3連休となるところを朝早くから集まり遅い時間までDVDの講習を受けなければならず、つらいところと思いますが頑張ってくださいました。講習会では班ごとに静脈注射の抜針、下部消化管検査、IGRT、一次救命処置法に至るまでをグループで慣れない手つきながら全員が実習を行いました。講師の方々有難う御座います。明日から仕事に生かせるものは生かしていきたいと思います。



静脈注射関係実習



下部消化管検査・IGRT 関係実習



BLS 関係実習



学術部長 吉 成 亀 蔵

平成29年度第1回全国地域連絡協議会（全国会長会議）

日 時：平成29年9月23日(土) 18：30～19：30

会 場：函館市市民会館大会議室

出席者：地区責任者（都道府県会長）・本会理事・本会監査監事

(一社) 栃木県診療放射線技師会 会 長 小 黒 清

議題1 柔道整復師法一部改正法案に対する反対表明決議について

第193回通常国会の終盤に参議院で「維新の会」から柔道整復師法一部改正法案が上程された。

法案の内容としては、

第十二条第一項中「衛生学」の下に「（放射線衛生学を含む。）、エックス線撮影診断学、放射線安全管理学」を加える。

第十七条の二 柔道整復師は、第二条第一項に規定する業務のほか、施術所において前条ただし書の応急手当をしようとする場合において、脱臼又は骨折が疑われる者のその患部（撮影のためのエックス線の照射により放射線障害を生じさせるおそれが少ないものとして厚生労働省令で定める部位にあるものに限る。）の状態の確認のため、当該患部に、撮影のためのエックス線の照射（当該患部へのエックス線の照射により放射線障害を生じさせるおそれが少ないものとして厚生労働省令で定める基準に適合したエックス線装置によるものに限る。）をすることを業として行うことができる。

と言うものであった。

これを受けて臨時理事会を開催し、反対表明決議を厚生労働省に提出した。と同時に診療放射線技師制度に関する懇話会の公明党石田祝稔衆議院議員と自民党橋本岳衆議院議員を訪問し反対表明決議を説明させていただいた。今後は加藤厚生労働大臣に直接お会いして説明をさせていただく。

与党が法案に賛成すれば法案は国会を通過するので、危機感を持って取り組んでいただきたい。法案

成立を阻止するためには政治の力が必要であり、日本診療放射線技師連盟に入っていただき自分たちの職業を守ると言う気持ちを持っていただきたい。

そうした中で、9月15日付の朝日新聞に「X線 無資格操作10年」と言う記事が掲載された。

10年間に渡り手術時に医師の指示のもとに臨床工学技士がX線装置の操作をしていたことが分かったと言うものであり、あつてはならないことである。このようなことが起こると徐々に診療放射線技師の仕事が奪われる恐れがあるので、医療放射線の安全管理の観点の視点から、各都道府県技師会の会長は各都道府県の医療機関に対してメッセージを送っていただき、放射線の安全管理に努めていただきたい。

議題2 執行理事による地域への出張内規について

執行理事が地域並びに地区からの講演依頼等を受け、業務として出張する場合の交通費・宿泊費の負担についての内規を改正した。地域学術大会（8地域）、地区学術大会・研修会等（47都道府県）はJART負担とし、地区技師会の記念式典等や執行理事以外の役員の招聘は主催者負担とする。この規定は平成30年度から適用させていただく。

議題3 61歳以上の年会費について

60歳定年制の中で61歳から65歳までの会員が年間約100名退会しており、会費の減額により退会理由の一つである経済的負担を軽減出来ないか検討し試案を作成した。一人当たりの減額想定額は7,000円で、年会費は8,000円とした。会費等納入規程の改

正が必要であり総会の議決の翌年からの実施となる。終身免除会員制度に関しては更に検討を重ねている。

議題4 都道府県における養成校設立の動きについて

静岡県に来年4月の開校に向けて3年制の専門学校が出来る動きがあり、反対運動を行っている。大阪府では4年制の専門学校を作りたいとの動きがある。大学は新潟医療福祉大学、順天堂大学、森ノ宮医療大学、福島県立医科大学などで設置が予定されている。各都道府県会長には、専門学校設置の許認可権を持つ各都道府県の行政庁に出向き本会は4年制大学の設置を目指している方針であることを説明していただき専門学校設立の阻止活動をお願いしたい。

議題5 災害支援診療放射線技師研修会の開催について

各地の災害時における診療放射線技師による支援活動チームを構築することが目的である。受講対象者は47都道府県サーベイトチームから災害支援のリーダーとして推薦する代表者1名とし、12月23日、24日の2日間でJART講義室を会場に開催する。今回は参加費、交通費、宿泊費は全てJARTで負担する。内容は放射線サーベイ関連、災害医療概要、災害時の診療放射線技師の役割と現状、災害時における安全管理と衛生管理、下肢静脈超音波実技講習である。また名称をサーベイトチームから発展的に災害支援チームと変えさせていただく。

議題6 永年勤続表彰について

表彰規程では勤続30年以上診療放射線技師関連業務に従事した者で本会に入会後引き続き15年以上会費を完納した者となっており、JARTに入会して30年以上ではないことを確認してほしい。

議題7 被ばく低減認定施設への協力について

各県に5施設は被ばく低減施設を認定したい。平成32年までに各県で3～5施設の認定施設があれば、診療報酬改定で加算を考慮するとの動きがある。認定料が掛かるものなので2年計画で施設認定の取得を進めていただきたい。

議題8 アンケート調査への協力について

平成29年度診療放射線技師業務に関する調査を行った。1,250の依頼数に対し回答数1,000以上を予定していたが592の回答であった。

この実態調査は非常に重要であり、業務拡大を勝ち得たのはこの基礎資料があったからこそ厚生労働省が動いてくれた経緯がある。協力してもらわないと困る。今後はこのようなことが無いようご協力をお願いしたい。

議題9 統一講習会受講率等について

平成29年度講習会数：50回（予定数142回）

平成29年度受講者数：1,342名（会員1,252名、非会員90名）

合計受講者数：9,259名（会員8,878名、非会員381名）、会員受講率31.93%

今後は受講者が5名でも10名でも講習会を行っていき、受講率100%を目指したい。

○日本診療放射線技師連盟について

会員数が300名程であり、年会費2,000円なので活動予算は60万円程しかない。自分たちの資格を守り発展させるには連盟の活動は非常に重要である。少なくとも各都道府県技師会の理事は全員入っていただきご協力をお願いしたい。

○第33回日本診療放射線技師学術大会報告

（9/23現在）

参加登録者数1,795名

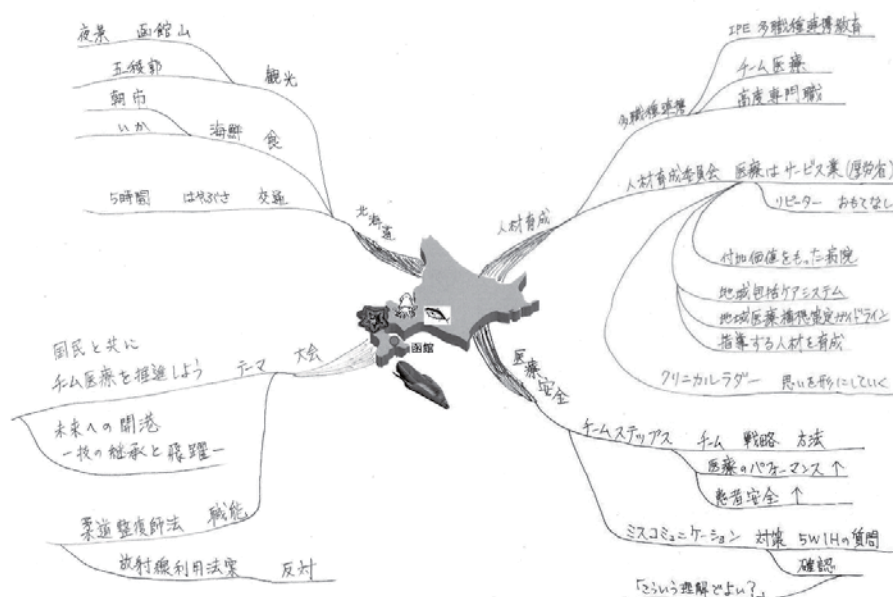
（会員1,719名、海外76名、未受付55名）

第33回日本診療放射線技師学術大会に参加して

獨協医科大学病院 瀬崎 英典 木村 友昭

平成29年9月22日～24日の3日間、北海道の函館アリーナにおいて開催された第33回日本診療放射線技師学術大会に参加してきました。仙台駅で北海道新幹線はやぶさに乗換え、函館市へ向かいました。函館市内はバスや路面電車が走り交際の便が良く、函館駅近くには朝市があり、新鮮な海の幸も頂けて、ぜひまたプライベートで訪れたいと思いました。

さて学会のほうに目を向けると、発表は瀬崎がポスターセッションでFPD長尺撮影システムの有用性に関して、木村が口述で人材育成について行いました。今回は人材育成をテーマにしたシンポジウムや発表が増えたと感じました。ポスターセッションでは、興味がある方を目の前に発表することができ、非常に励みになりました。情報交換会では、発表を聞いていただいた方と発表内容についてより深く話すことができ、発表以外についても色々と教えていただき、充実した学会参加となりました。



学術大会でマインドマップの講義を受けたので、今回の報告をマインドマップで表現してみました。
(木村)



函館駅にて



函館山からの夜景



ポスター発表にて



第93回 一般社団法人 栃木県診療放射線技師会定時社員総会議事録

日 時：平成29年5月27日(土) 午後4時45分

場 所：獨協医科大学 臨床医学棟10階講堂〈下都賀郡壬生町小林880〉

総会員数：449名（平成29年5月27日(土) 午後4時45分現在）

出席会員数：297名（内訳：本人出席35名、委任状出席252名、書面表決による出席10名）

開会の経過

定刻に至り、業務執行理事柳沢三二郎 開会を宣する。

会長小黑清より開会挨拶の後、勤続20年および35年功労表彰がおこなわれ、35年功労者10名と20年功労者12名が表彰された。

続いて、

総会運営委員長：池田卓義 総会運営委員会より報告する。本日、平成29年5月27日午後4時45分現在での一般社団法人栃木県診療放射線技師会の正会員数は449名である。本日の会場出席者数35名。委任状による出席者数252名。書面表決による出席者数10名である。したがって有効出席者数は297名となり、本会定款第18条「社員総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。」の条文を満たしており、本日の総会は無効に成立する。

続いて議場に、議長、議事録作成人並びに議事録署名人の選出方法を諮ったところ、執行部一任となり、満場一致をもって、議長に理事佐藤祐二、議事録作成人に理事牧島正道、議事録署名人に代表理事小黑清、理事柳沢三二郎が選任された。

議長佐藤祐二より挨拶の後、議案の審議に入った。

議長：佐藤祐二 第1号議案平成28年度事業報告、第2号議案平成28年度会計決算報告および第3号議案平成28年度監査報告は関連する議案であるため、第1号議案、第2号議案、第3号議案は一括して審議することとする。

第1号議案

議長：佐藤祐二 第1号議案平成28年度事業報告を執行部より報告願いたい。

会長：小黑 清 議長の求めにより平成28年度会務経過の総括を資料に基づき報告する。

平成28年7月に行われた第24回参議院選挙では、

会員をはじめ多くの方々にご支援やご協力を頂きお礼を申し上げる。結果は残念ながら我々診療放射線技師の代表を国政に送り出すことはできなかった。第91回定時社員総会において日本診療放射線技師連盟の活動への支援を承認して頂いたが、十分な活動を行うことができなかったことは反省しなければならない。今回の教訓を今後の活動に生かしていきたい。

「業務拡大に伴う統一講習会」は平成28年度に2回開催し合計4回の開催となったが、受講者は会員の半数にも達していない。医療安全の確保の観点から受講することが望ましいことを啓蒙してきたつもりであるが、会員に十分に浸透させることができなかった。

また、県内で会員が勤務する医療機関の管理職の方々を対象とした「技師長サミット」を初めて開催した。本県に於いて技師長、副技師長の方々が一堂に会することは稀であり、施設間の交流の場としての一助になったのではないと思う。

本会は平成27年度に行政庁の監督を受けない本来の一般社団法人となったことから、会員に特化した事業のみを行うことができることになったが、本会定款等に記載されている「診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、医療放射線に関する技術及び知識の向上を図り、医療放射線の適正利用を推進し、もって医療と保健の維持発展に寄与する」に則り事業を推進してきた。

平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日）は、次の5項目を重点項目として事業を行った。

(1) 日本診療放射線技師会との連携

- ①日本診療放射線技師会の業務拡大に伴う統一講習会を開催した。診療放射線技師法の一部改正が平成26年6月に決定され、平成27年4月1日に施行された。これに伴う講習会を北関東地域の技師会と連携して開催した。本県では平成28年7月17日(日)～18日(月)に第3回目を実施し、平成29年1月8日(日)～9日(月)に第4回目を実施した。
- ②日本診療放射線技師会の生涯学習システム事業である診療放射線技師基礎技術講習を日本診療放射線技師会及び北関東地域の技師会と連携して開

催した。本県は平成 28 年 10 月 23 日(日)に血管造影検査を開催し、本会並びに他県技師会の開催案内をホームページ・メーリングリスト・情報誌等で広報し、県内会員へ参加の啓発を図った。

③日本診療放射線技師会と連携し、フレッシュャーズセミナー（入会促進講習会）を平成 28 年 6 月 26 日(日)に開催した。新たに診療放射線技師として勤務するフレッシュャーズを対象とし、診療放射線技師として必要な基礎知識と技術を身につけさせ、医療・福祉の向上に努めた。

(2) ホームページ・メーリングリストによる情報提供

ホームページ及びメーリングリストを活用し、関連団体の医療情報や講習会、講演会の開催案内等をオンデマンドでタイムリーに情報提供し、周知の徹底を図った。本会が代表として、関連団体のメーリングリストに積極的に登録し、会員に役に立つ情報収集に努め、それを発信することで情報の共有を図ったが、メーリングリストの登録人数は未だに少なく、ホームページの改変も含めて今後も継続して啓発していく必要がある。

(3) 平成 28 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会（埼玉）への参画

埼玉県診療放射線技師会が実施県となり、さいたま市で平成 28 年 5 月 14 日(土)～15 日(日)に開催した。本会会員も演題発表及び座長、参加登録など積極的に協力し参画した。

(4) 栃木県診療放射線技師会 第 12 回学術研究発表会の充実を図る

学術的研究、職能団体の特長を活かした研究、安全で安心な検査の方法や工夫などを報告する発表会を平成 29 年 3 月 5 日(日)に獨協医科大学で開催し、その抄録集を発行した。演題の中から学術奨励賞を 2 演題選出し、その成果を讃えた。若い技師及び学生からの演題発表もあり、登竜門としての役割も果たせた。ここから得た知識や成果を個人・職場に還元することで医療と保健の維持発展に寄与し、「安心安全な医療」を提供していくための「情報と技術の共有」の場となった。

(5) 組織の活性化を図る

各地区の卒後教育講座を年 2 回以上開催した。日常業務に役立つ知識やタイムリーな情報など、安心して安全な医療を提供できる診療放射線技師の育成と資質向上に役立つ内容にし、会員の学術的モチベーションを高めることができた。会員と非会員の差別化を図り、入会促進に繋がるように開催した。事業実施の詳細については、総会資料を参照いただきたい。

第 2 号議案

議長：佐藤祐二 続いて、第 2 号議案平成 28 年度会計決算報告を執行部よりご説明いただきたい。

理事：金田幹雄 議長の求めにより資料に基づき報告する。小黒会長に代わり私から報告させていただく。

理事：金田幹雄 決算書は事前に配布してあるので、概略のみ報告させていただくこととする。

まず、正味財産増減計算書について説明する。平成 28 年度の経常収益は 5,781,550 円で、対前年度比 133,359 円の増収となった。経常費用は 5,833,990 円で対前年度比 493,427 円の支出減となっている。

経常収益から経常費用を引いた当期経常増減額は、52,440 円の減となり、正味財産合計は 2,565,035 円である。

なお、科目ごとの詳細については、正味財産増減計算書と内訳書の当年度と前年度の増減を見て、状況を確認していただきたい。

貸借対照表内訳書より、流動資産合計 2,565,035 円が次期繰越流動資産となる。

以上、報告する。

第 3 号議案

議長：佐藤祐二 続いて第 3 号議案平成 28 年度監査報告について監事より報告願いたい。

監事：茂木常男 議長の求めにより監査結果を報告する。4 月 8 日土曜日、本会事務所において会長、副会長、常務理事、財務担当理事、総務担当理事および事務職員立ち会いのもと、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの平成 28 年度の理事の職務執行について監査を実施したので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 99 条第 1 項（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 197 条において準用する同法第 99 条第 1 項）及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 36 条及び第 45 条（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 64 条において準用する同規則第 36 条及び第 45 条）の規定に基づき監査報告書を作成し、以下の通り報告する。

監査の方法及びその内容については、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、当技師会の主たる事務所において業務及び財産の状況を調査した。以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査した。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等

について監査した。その結果、事業報告等の監査結果について、事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当技師会の状況を正しく示しているものと認める。理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果について、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当技師会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示しているものと認める。

議長：佐藤祐二 第1号議案から第3号議案の報告について、質問等があれば承る。

議長は、第1号議案、第2号議案、第3号議案についての質問等を議場に諮ったが、特に無かった。

議長は、まず第1号議案について採決をおこなった。

その結果、書面議決権行使者10名は全員賛成であり、会場出席者による採決は、満場一致により第1号議案が可決承認された。

議長は、続いて、第2号議案について採決をおこなった。書面議決権行使者10名は全員賛成であり、会場出席者による採決は満場一致により、第2号議案が可決承認された。

議長は、続いて、第3号議案について採決をおこなった。書面議決権行使者10名全員賛成であり、会場出席者による採決は満場一致により、第3号議案が原案どおり可決承認され、ここで、第1号、第2号、第3号のすべてが原案どおり可決承認されたことを告げた。

第4号議案

議長：佐藤祐二 第4号議案報告事項平成29年度事業計画・収支予算についてであるが、この議案は報告事項であるから、あらかじめ総会資料を見て頂いていることを前提に、報告は省略させていただく。

議長は、平成29年度事業計画・収支予算について質問等を議場に諮ったが、特に無かった。

議長：佐藤祐二 先ほど述べたとおり、この議案は報告事項であるため、採決はせずに次の議案に移る。

第5号議案

議長：佐藤祐二 続いて第5号議案のその他についてであるが執行部から何かあるか。

議長は、その他の質問、提案等について議場に諮ったが、特になかった。

第6号議案

議長：佐藤祐二 平成29年度・30年度役員選挙について選挙管理委員会よりご報告願いたい。

選挙管理委員長：杉岡芳明 選挙管理委員会から報告する。

本会定款第24条の規定により、理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会終結の時までとなる。本会役員選任及び解任規程第6条1項「選挙の公示は社員総会の3月前までとする」の規定により、平成29年2月20日(月)に、一般社団法人栃木県診療放射線技師会平成29年度・30年度役員選挙の公示を行った。

立候補届出期限を平成29年4月27日(木)とし、役員選任及び解任規程より、理事立候補者17名と監事立候補者2名について、平成29年4月28日(金)に立候補者届けの受理及び資格審査を行い、すべて問題はなかったことから、候補者氏名の公示を平成29年5月1日(月)におこなった。

次に、本会定款第21条及び役員選任及び解任規程第11条の規定により、「理事及び監事は、社員総会の決議によって選任する」「理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに決議をおこなわなければならない」そして、「当選は正会員の過半数をもって行う」とある。

ここで、規定により候補者名を1名ずつ読み上げるので、賛成の場合はその都度、拍手願いたい。

選挙管理委員長は、17名の理事候補者および2名の監事候補者の氏名を読み上げて候補者毎に決議をおこなった。

理事候補17名

吉成 亀蔵	ヨシナリ カメゾウ	那須赤十字病院
樋口 清孝	ヒグチ キヨタカ	国際医療福祉大学
小黒 清	オグロ キヨシ	獨協医科大学病院
金田 幹雄	カネダ ミキオ	獨協医科大学病院
木村 友昭	キムラ トモアキ	獨協医科大学病院
福田 敏幸	フクダ トシユキ	済生会宇都宮病院
池田 卓義	イケダ タカヨシ	済生会宇都宮病院
牧島 正道	マキシマ マサミチ	栃木県立がんセンター
佐藤 宏	サトウ ヒロシ	栃木県立がんセンター
柏崎 克彦	カシワザキ カツヒコ	宇都宮記念病院
高橋 伸彰	タカハシ ノブアキ	芳賀赤十字病院
三原 健二	ミハラ ケンジ	佐野市民病院
須藤 昌彦	ストウ マサヒコ	足利赤十字病院
加藤 恵二	カトウ エイジ	佐野厚生総合病院
柳沢三二郎	ヤナギサワ ミツオ	自治医科大学附属病院

大橋 俊之 オオハシ トシユキ 自治医科大学附属病院
木村 和弘 キムラ カズヒロ とちぎメディカルセンターしもつが

次に、監事候補 2 名

茂木 常男 モテギ ツネオ
萩原 二三雄 オギワラ フミオ

決議の結果、理事及び監事候補者は全員承認され、当選となった。

選挙管理委員長杉岡芳明は、当選した理事及び監事候補者各々に就任の承諾を確認し、全員が就任を承諾した。

選挙管理委員長：杉岡芳明 以上をもって、平成 29 年度・平成 30 年度役員選挙を終了とし、選挙管理委員会からの報告を終了とする。

議長：佐藤祐二 只今、新理事が選任されたが、この中から代表理事並びに業務執行理事を選任する臨時理事会を開催するため、総会は暫時休憩とし、臨時理事会終了後に再開する。

休 憩

議長：佐藤祐二 これより議事を再開する。新代表理事より業務執行理事を発表願いたい。

代表理事：小黒 清 休憩中に開催した第 2 回理事会において、次のとおり選任されたので報告する。

代表理事 (会 長) 小黒 清 (獨協医科大学病院)
業務執行理事 (副会長) 柳沢三二郎 (自治医科大学附属病院)
業務執行理事 (副会長) 福田敏幸 (済生会宇都宮病院)
業務執行理事 (常務理事) 牧島正道 (栃木県立がんセンター)
業務執行理事 (財務部長) 金田幹雄 (獨協医科大学病院)
業務執行理事 (学術部長) 吉成亀蔵 (那須赤十字病院)
業務執行理事 (総務部長) 須藤昌彦 (足利赤十字病院)

以上、平成 29 年・30 年度の代表理事並びに業務執行理事が選任された。

議長は、本日の第 93 回定時社員総会における議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降壇した。

理事：柳沢三二郎 閉会を宣し、午後 5 時 20 分散会した。



平成28年度 第1回 理 事 会 議 事 録 (抄)

日 時：平成28年 4 月27日(水) 19：00～ 場 所：獨協医科大学病院 2 階放射線部前 会議室

出席者：(理事) 小黒 清、柳沢三二郎、福田敏幸、牧島正道、金田幹雄、吉成亀蔵、柏崎克彦
樋口清孝、寺島洋一、須藤昌彦、池田卓義、三原健二、斎藤早苗

(監事) 茂木常男、神山辰彦

欠席者：(理事) 齊藤 稔、佐藤祐二、市川和秀

開会の経過

定刻に至り、議長小黒清 開会を宣する。

議長：小黒 清 本日の理事会は法定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議事録作成人の選任方法を諮ったところ、満場一致をもって理事斎藤早苗が選任された。また議事録署名人は本会定款第 34 条の規定により、会長小黒清、監事茂木常男、監事神山辰彦が選任された。

第 1 号議案 平成 27 年度第 6 回理事会議事録の承認並びに会長報告

議長：小黒 清 平成 27 年度第 6 回理事会議事録の承認を求める。

議長は平成 27 年度第 6 回理事会議事録の承認について諮ったところ、訂正として理事樋口清孝の出席を加え、満場一致で承認された。

議長：小黒 清 4 月 7 日ホテルニューオータニにて開催された「あぜもと将吾と明るい国づくりを考える会」に業務執行理事 吉成亀蔵と参加した。

第 2 号議案 平成 27 年度事業報告について

議長：小黒 清 資料に基づき平成 27 年度事業を報告する。

議長：小黒 清 平成 27 年 4 月に診療放射線技師法が一部改正されたことにより、業務拡大に伴う統一講習会を受講することが望ましいことから本会においても 2 回講習会を開催した。診療放射線技師

職の地位向上と職務拡大を目指す為には国政に我々の代表を送り出すことも重要であることから、第91回定時社員総会において日本診療放射線技師連盟活動への支援、つまりはあぜもと将吾を応援することについて承認を頂いた。

また、平成27年度に本来の一般社団法人となったことから、本会定款等に記載されている「診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、医療放射線に関する技術および知識の向上を図り、医療放射線の適正利用を推進し、医療と保健の維持に寄与する」に則り事業を推進してきた。

議長は平成27年度事業報告の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第3号議案 平成27年度会計決算報告について

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、資料に基づき平成27年度会計決算報告する。

業務執行理事：金田幹雄 平成27年度収入減の理由として広告収入が3社減ったためと考えられる。今年度は収入に対し支出が多かった。理由としては、事務所の引越し、理事会が1回多かったためと考えられる。「このまま支出が多いと、正味財産がなくなってしまうのか」との見解ともとれるので総会で詳細な説明できるよう準備をする。

議長は平成27年度会計決算報告の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第4号議案 平成27年度監査報告

監事：茂木常男 議長の求めにより、4月9日16時より事務所にて問題なく行われたことを報告。資料は次回までに提出する。

議長は平成27年度監査報告の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第5号議案 第92回定時社員総会開催について

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

日時：平成28年6月18日(土)

受付16時45分 開会17時

場所：栃木県総合文化センター 第1会議室

議長：4地区理事 市川和秀

総会運営委員会：委員長は地区理事がやるが、誰になるか事務局にて早急に確認し連絡をとる。

表彰：20年、35年勤続功労表彰

議事：第1号議案 平成27年度事業報告

第2号議案 平成27年度会計決算報告

第3号議案 平成27年度監査報告

第4号議案 平成28年度事業計画及び
予算書（報告事項）

第5号議案 その他

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第6号議案 第1回卒後教育講座開催について

業務執行理事：吉成亀蔵 議長小黒清の求めにより、報告する。

日時：平成28年6月18日(土)

受付14時30分 開会15時

場所：栃木県総合文化センター 第1会議室

内容：会長挨拶5分

15時5分から15時50分

「平成28年度診療報酬改定‘画像診断関連の改定ポイント’」

ブラッコ・エーザイ株式会社 内川 慶 先生
10分休憩

16時から16時45分

「TOSHIBA MRI 最新技術」

東芝メディカルシステムズ(株)

関東支社営業推進部

MRI担当 今泉 裕行先生

座 長：理事 三原健二

報告書：理事 寺島洋一

受付など詳しい人事は表にしてメールにて報告する。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第7号議案 フレッシュアップセミナーの開催について

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

日時：平成28年6月26日(日)

9時受付 9時30分～15時30分

場所：栃木県総合文化センター第3会議室

医療安全（福田敏幸）

マナー・エチケット（金田幹雄）

感染対策（寺島洋一）

入会案内（小黒 清）

気管支解剖（吉成亀蔵）以上5名にて行う。

議長はこの議案について承認を諮ったところ、満場一致で承認された。

第8号議案 技師長サミットについて

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

日時：平成28年6月4日(土) 15時から17時

場所：獨協医科大学病院6階シミュレーション講義室

参加対象者：各施設の管理職の方のみに変更

栃木県診療放射線技師会理事

内容：「各施設での人材育成についてどのようにおこなっているか」

(獨協医科大学病院、自治医科大学病院、済生会宇都宮病院)

意見交換 どのようにして人材育成をしていったら良いか

メーカー講演

苦情窓口担当者によるお客様対応について(エーザイ)

接遇に関する教育の方法(第一三共)

管理職の人材育成について(マネージメント研修)(GEヘルスケア・ジャパン)

司会進行は企画部 理事 三原健二

研修会終了後、情報交換会を企画している。場所は業務執行理事 金田幹雄が担当する。

議長：小黒 清 資料の訂正箇所を直し、事務局から各施設に発送する。また、あぜもと将吾さんに参加してもらえるか、確認をする。

席者には受付時ネームプレートを付けてもらう。

次回に向けアンケートをとる予定。

理事はサポートとして原則出席。欠席者は連絡すること。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第9号議案 各部・各地区報告について

◎部会報告

(事務局)

業務執行理事：牧島正道 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

会員の動静、新入会希望者が1名。

入会希望者の入会許可について承認を諮ったところ、満場一致で承認された。

会員総数は平成28年4月25日448名。今回から資料に会員総数と地区別の会員数を表にしたので参考にしてもらいたい。

議長：小黒 清 フレッシュャーズセミナーにて入会を促進したい。

(総務部)

業務執行理事：須藤昌彦 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

平成28年度のタイムスケジュール、4月9日に行われた業務執行理事会の議事録を確認していただきたい。

(財務部)

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

議長：小黒 清 各地区及び研究会の経費について、技師会活動を行った場合は必ず経費と旅費の請求をお願いしたい。

(学術部)

業務執行理事：吉成亀蔵 特になし。

(広報部)

理事：樋口清孝 議長の求めにより報告する。

次回「あすたーと40号」が8月8日(月)に発行。締め切りが7月23日(土)となっているので締め切りに間に合うよう入稿願いたい。

また会誌108号は1月10日(火)が発行日なので12月15日(木)までに入稿願いたい。学術大会の抄録は2月20日(月)が発行日なので1月31日(火)までに入稿願いたい。

(組織部)

理事：柏崎克彦 特になし。

(企画部)

理事：三原健二：議長の求めにより、報告する。

技師長サミットが6月4日(土)15:00から獨協医科大学で開催されるので、協力お願いしたい。

(地域医療対策部)

理事：市川和秀：欠席のため、業務執行理事 福田敏幸より、資料に基づき報告する。

栃木県公衆衛生大会知事表彰・栃木県公衆衛生大会会長表彰のリストをあげた。

大会知事表彰6名、大会会長表彰11名を推薦したいと思う。

議長はこの議案について承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(JART女性部)

理事：斎藤早苗：関東甲信越学術大会にお手伝いとして参加。

◎各地区理事活動報告

第1地区

理事：樋口清孝 特になし

第2地区

理事：斎藤早苗 今年度、第1回卒後教育講座10月29日(土)第2回卒後教育講座来年2月4日(土)に開催予定。内容については後日相談して決める予定。

第3地区

理事：池田卓義 今年度、第1回卒後教育講座

10月13日(木)内容は読影の補助。第2回卒後教育講座来年2月9日(木)に開催予定。内容は未定。

第4地区

理事：三原健二 今年度、第1回卒後教育講座9月1日(木)佐野厚生総合病院、第2回卒後教育講座来年2月4日(土)佐野市民病院にて開催予定。内容は未定。

第5地区

理事：斉藤 稔 欠席のため、特になし。

第10号議案 業務執行理事報告

議長：小黒 清 4月9日に行われた業務執行理事会の議事録を参照願いたい。

業務執行理事：柳沢三二郎 議長の求めにより、追加報告する。

ホームページのあすたーと、研究発表会、会誌の更新を3ヶ月ごとにする。

地区の卒後教育講座の予定が決まり次第、すみやかに業務執行理事 柳沢三二郎に報告すること。

業務執行理事：福田敏幸 議長の求めにより、追加報告する。

今年の6月の総会が終了した時点より2年間、日放技の選挙管理委員になる。

業務執行理事：牧島正道 特になし

業務執行理事：須藤昌彦 特になし

業務執行理事：金田幹雄 特になし

業務執行理事：吉成亀蔵 特になし

第11号議案 その他（報告事項と確認事項等）

・あぜもと将吾サポーター申込の件

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

あぜもとサポーター数が伸びない。本県でも活動を行っているが130名程度。目標は1,800名。今度の技師長サミットと総会を有効に使いたい。

・放射線サーベイチームの設立の件

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

日本診療放射線技師会より「放射線サーベイチームの設立について（お願い）」があり、本県でも設立する。放射線管理士を持った方を中心にしたい。人数10名程度、期限は6月11日まで。ホームページやメールにて募集する。

・業務拡大に伴う統一講習会に関して

業務執行理事：柳沢三二郎 業務拡大に伴う統一講習会にて「看護師・医師の付き添いのもとにインジェクターの操作を行う」という文言があったが、「看護師・医師がすぐに来られる場所に待機している」という判断でよいという日放技からの回答があった。

議長は、その他について諮ったところ特になく、以上本日の議案が満場一致にて承認されたことを確認した。

議長は本日の平成28年度第1回理事会における議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降壇した。

議長：小黒 清 閉会を宣し、午後8時40分散会した。



平成28年度 第2回 理事会 議事録（抄）

日時：平成28年11月5日(土) 午後5時20分

場所：獨協医科大学病院 教育医療棟7階シミュレーション講義室Ⅱ

出席者：（理事）小黒 清、柳沢三二郎、福田敏幸、金田幹雄、吉成亀蔵、柏崎克彦、樋口清孝、寺島洋一、斉藤 稔、須藤昌彦、斎藤早苗、池田卓義、佐藤祐二、市川和秀

（監事）茂木常男、神山辰彦

欠席者：（理事）牧島正道、三原健二

開会の経過

定刻に至り、議長小黒清 開会を宣する。

議長：小黒 清 本日の理事会は法定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議事録作成人の選任方法を諮ったところ、満場一致をもって理事池田卓義が選任された。また、議事録署名人は本会定款

第34条の規定により、会長小黒清、監事茂木常男、監事神山辰彦が選任された。

第1号議案 平成28年度第1回理事会議事録の承認並びに会長報告

議長：小黒 清 平成28年度第1回理事会議事録の承認を求める。

議長は平成 28 年度第 1 回理事会議事録承認について諮ったところ、会誌号数・文言の訂正を加え満場一致で承認された。(今後、議事録は事務局の牧島常務理事宛に送るようにすること)

議長：小黒 清 会長報告。資料に基づき報告する。

- 4月28日 第1回理事会
- 5月14日 関東甲信越診療放射線技師学術大会役員会(拡大)(大宮ソニックシティ)
- 5月14日 関東甲信越診療放射線技師学術大会(大宮ソニックシティ)
- 15日 関東甲信越診療放射線技師学術大会(大宮ソニックシティ)
- 6月 4日 第1回技師長サミット(獨協医科大学病院)
- 6月 9日 栃木県がん集検協議会理事会(栃木県立がんセンター)
- 6月10日 日本診療放射線技師会代議員研修会(AP東京八重洲通り)
- 6月11日 日本診療放射線技師会第77回定時総会(日経ホール)
- 6月18日 第1回卒後教育講座、第92回定時社員総会、勤続20年・35年表彰式(栃木県総合文化センター)
- 6月26日 診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー(栃木県総合文化センター)
- 7月 6日 栃木県がん集検協議会総会及び学術講演会(栃木県立がんセンター)
- 7月12日 第2回業務執行理事会(獨協医科大学病院)
- 7月14日 栃木県生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診委員会(栃木県立がんセンター)
- 7月17日 第3回業務拡大に伴う統一講習会(獨協医科大学病院)
- 18日 第3回業務拡大に伴う統一講習会(獨協医科大学病院)
- 7月20日 第1回第4地区幹事会(足利赤十字病院)
- 8月 8日 あすたーとVOL.40発行
- 9月 1日 第1回第4地区卒後教育講座・第2回第4地区幹事会(佐野厚生総合病院)
- 9月 5日 第3回業務執行理事会(獨協医科大学病院)
- 9月 7日 第1地区幹事会(国際医療福祉大学)
- 9月16日 第32回日本診療放射線技師学術大会(長良川国際会議場・岐阜都ホテル)

- 17日 第32回日本診療放射線技師学術大会(長良川国際会議場・岐阜都ホテル)
- 9月17日 地域委員会(全国会長会議)(長良川国際会議場)
- 10月13日 第1回第3地区卒後教育講座(済生会宇都宮病院)
- 10月19日 第1回第1地区卒後教育講座(国際医療福祉大学)
- 10月23日 診療放射線技師基礎技術講習「血管造影」(獨協医科大学病院)
- 10月29日 第1回第2地区卒後教育講座(獨協医科大学病院)
- 11月 5日 第2回卒後教育講座(獨協医科大学病院)
- 第2回理事会(獨協医科大学病院)

第2号議案 基礎技術講習(血管造影検査)開催報告
業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより基礎技術講習(血管造影検査)について資料に基づき報告する。45名の参加があった。

第3号議案 平成28年度第2回卒後教育講座開催報告
業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより平成28年度第2回卒後教育講座について資料に基づき報告する。
会員93名、未入会の新人3名、非会員3名、学生22名の合計121名の参加者があった。

第4号議案 第4回業務拡大に伴う統一講習会の開催について
議長：小黒 清 資料に基づき報告する。平成29年1月8日～1月9日の2日間で獨協医科大学を会場に開催する。受講定員は60名で、既に日放技のホームページから受講受付を開始している。
実習担当指導者：須田富仁、内田新也、芦崎道太、小林和宗(9日のみ)
実習指導補助：福田敏幸、寺島洋一、須藤昌彦、牧島正道(スタッフ兼務)
スタッフ：吉成亀蔵(会場責任者)、柳沢三二郎、金田幹雄、牧島正道に願います。

議長はこの議案について承認を諮ったところ、満場一致で承認された。

第5号議案 第12回学術研究発表会の開催について
議長：小黒 清 資料に基づき報告する。平成29年3月5日(日)に獨協医科大学関湊記念ホールにて開催する。演題締切(12月9日)抄録締切(1月11日)

となっている。

議長はこの議案について承認を諮ったところ、満場一致で承認された。

第6号議案 平成28年度第3回卒後教育講座の開催について

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。平成29年3月5日(日)第12回学術研究発表会と一連で開催する。講師は自治医科大学附属病院救急医学 米川力先生で、テーマは(仮)救急医学における地域連携について～画像を中心として～となっている。

議長はこの議案について承認を諮ったところ、満場一致で承認された。

第7号議案 学術大会等の参加助成費について

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

現在本会では学術大会への演題発表を奨励する意味で参加登録費を助成しているが、関東地域と全国の両方に発表した場合、助成金の金額が年会費を上回ってしまうので今後の対応について検討したい。助成を開始した当初の目的は達成したと思われるので、助成制度を廃止か会員のメリットとして、助成額を削減して継続するか考えたい。

理事：寺島洋一 会の収支が厳しくなってきたとの認識でいいのか。年会費を上回るのなら抑制で考えていくのか。

業務執行理事：金田幹雄 財務部的にはそれほど負担にはならない。

議長：小黒 清 発表を県の技師会にフィードバックしてもらえるのであれば助成する価値はあるのではないか。

少し時間をおいてもらって次回の議題として検討採決をしたい。

議長はこの議案について承認を諮ったところ、満場一致で承認された。

第8号議案 第2回、第3回業務執行理事会開催報告

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

第9号議案 各部・各地区報告について

◎部会報告
(事務局)

業務執行理事：福田敏幸 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

- ・資料のとおり、新入会希望者が18名。入会を認めて良いかお諮りしたい。
- ・会員の動静：会員総数 463名。

議長は、入会希望者について承認を諮ったところ、満場一致で18名の入会が承認された。

(総務部)

業務執行理事：須藤昌彦 特になし。

(財務部)

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

- ・会費納入状況(平成28年10月21日現在)
正会員386名/463名(83.4%)
未納者数：平成27年度：3名(機関誌等配布の停止および会員資格の喪失通知を発送済)
- ・賛助会費未納社が富士フィルムRIファーマ(株)
- ・広告料未納社がカイゲンファーム(株)、伏見製薬(株)、バイエル薬品(株)
- ・関東甲信越診療放射線技師学術大会の参加費助成について
発表演者3名、座長2名に参加費助成を実施した。
- ・日本診療放射線技師学術大会の参加費助成について
発表演者7名に参加費助成を実施した。

(学術部)

業務執行理事：吉成亀蔵 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

(広報部)

理事：樋口清孝 議長の求めにより報告する。

- ・会誌の次号は1月10日発行(108号)で原稿の締切は12月15日。

(組織部)

理事：柏崎克彦 特になし。

(企画部)

理事：三原健二 欠席のため特になし。

(地域医療対策部)

理事：市川和秀 議長の求めにより報告する。

- ・多数の会員について表彰の推薦をおこなった。受賞の可否については結果が出次第まとめて報告する。

(JART女性サミット)

理事：斎藤早苗 特になし。

◎各地区理事活動報告

第1地区(理事：樋口清孝)

第1回卒後教育講座を10月19日国際医療福祉大学で開催、第2回卒後教育講座は2月17日国際医療福祉大学で開催予定。

第2地区（理事：斎藤早苗）

第1回卒後教育講座を10月29日獨協医科大学病院で開催、第2回卒後教育講座は2月4日獨協医科大学病院で開催予定。

第3地区（理事：池田卓義）

第1回卒後教育講座を10月13日済生会宇都宮病院で開催、第2回卒後教育講座は2月9日済生会宇都宮病院で開催予定。

第4地区（理事：須藤昌彦）

第1回卒後教育講座を9月1日佐野厚生総合病院で開催、第2回卒後教育講座は2月4日佐野市民病院で開催予定。

第5地区（理事：斉藤 稔）

11月6日とちぎメディカルセンターしもつが病院祭りでパネルを展示。第1回卒後教育講座を11月17日とちぎメディカルセンターしもつがで開催、第2回卒後教育講座は1月16日開催予定。

第11号議案 その他（報告事項と確認事項等）

業務執行理事：吉成亀蔵 議長の求めにより資料に基づき報告する。

- 2017年度の年間スケジュールを決定したい。

業務執行理事：福田敏幸 統一講習会の実施については、ハッピーマンデーを必ず含めるのかを検討していただき、講師の負担を減らしていきたい。

業務執行理事：金田幹雄 スタッフの人数、費用に関しても検討していただきたい。

議長：小黒 清 来年度は第5回統一講習会は7月16・17日に開催、第6回統一講習会は2月11・12日に開催する。基礎技術講習（放射線治療）を10月29日に開催する。再来年度の日程を検討していきたい。

議長：小黒 清 来年度も技師長サミットを6月に開催したい。

議長：小黒 清 栃木県内の施設のDRLのアンケートをし集計し県の状況を全国で発表していきたい。

議長：小黒 清 技師会の下部組織として研究会を結成して、いろいろ研究をしてもらいたい。

議長は、その他について諮ったところ特になく、以上本日の議案が、満場一致にて承認されたことを確認した。

議長は、本日の平成28年度第2回理事会における議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降壇した。

議長：小黒 清 閉会を宣し、午後6時43分散会した。



平成28年度 第3回 理事会 議事録（抄）

日 時：平成29年1月26日（木） 午後6時30分 場 所：獨協医科大学病院 2階放射線部前 会議室
出席者：（理事）小黒 清、柳沢三二郎、市川和秀、牧島正道、金田幹雄、吉成亀蔵、柏崎克彦、
樋口清孝、寺島洋一、須藤昌彦、池田卓義、三原健二、斎藤早苗、斉藤 稔、佐藤裕二
（監事）茂木常男、神山辰彦
欠席者：（理事）福田敏幸

開会の経過

定刻に至り、議長小黒清 開会を宣する。

議長：小黒 清 本日の理事会は、法定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議事録作成人の選出方法を諮ったところ、満場一致をもって理事市川和秀が選任された。また議事録署名人は、本会定款第34条の規定により、会長小黒清、監事茂木常男、監事神山辰彦が、選任された。

第1号議案 平成28年度第2回理事会議事録の承認並びに会長報告

議長：小黒 清 平成28年度第2回理事会議事録の承認を求める。

議長は平成28年度第2回理事会議事録承認について諮ったところ、第9号議案の文言の訂正を加え満場一致で承認された。

日本診療放射線技師会の代議員選挙立候補について会長小黒清、理事牧島正道、理事吉成亀蔵が、立候補した。

補欠代議員として副会長柳沢三二郎が立候補した。

日本放射線公衆安全学会の役員選挙に係る法人会員の選挙人選出について

会長小黑清、副会長柳沢三二郎、副会長福田敏幸を選出した。

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部第48回放射線研修委員会学術集会の後援依頼承認の報告

3月11日横浜市西区みなとみらいで開催する上記学術集会の後援依頼を承認した。

議長は第1号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第2号議案 第4回業務執行理事会開催報告

議長：小黑 清 資料に基づき報告する。当会にMRI研究会は設置せず、当会事業には栃木MR研究会に協力してもらうこととする。

市町村合併に伴う所属地区の変更については、長期検討事項として現状を維持する。

議長は第2号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第3号議案 第4回業務拡大に伴う統一講習会の開催報告

議長：小黑 清 資料に基づき報告する。

平成29年1月8日(日)～1月9日(月)

獨協医科大学120番教室(1階)・2階教室

受講者数50人全員が合格した。

第4回までで会員463人中195人が受講した。開催規定にて受講者が20人以下では開催ができない。

議長は第3号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第4号議案 学術大会等の参加費助成について

議長：小黑 清 最近の学術大会等参加を鑑み来年度より廃止したい。

議長は第4号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第5号議案 選挙管理委員の欠員に伴う補充委員の選出

議長：小黑 清 自治医科大学附属病院の吉原勇人が選任された。

議長は第5号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第6号議案 第12回学術研究発表会と第3回卒後教育講座開催について

平成29年3月5日(日)獨協医科大学関奏記念ホール

・第12回学術研究発表会(集合時間7:45 受付8:30～)
研究発表 演題数18演題

第32回日本診療放射線技師学術大会(岐阜)発表報告7演題

・ランチョンセミナーの開催(120番教室) 限定100食の整理券配布

内容：コニカ、富士フイルムによる最新情報の提供

・第3回卒後教育講座

講師：自治医科大学附属病院

救急医学 米川 力 先生

内容：(仮)救急医学における地域連携について
～画像を中心として～

・賛助会員によるパンフレット等の配布。

業務執行理事：吉成亀蔵 議長の求めにより、第12回学術研究発表会と第3回卒後教育講座開催について、各理事の役割分担を発表した。

ランチョンセミナーのコニカ、富士フイルムによる最新情報の提供の題名と内容を1月末までに報告。

業務執行理事牧島正道に、座長本人は氏名のみ、施設長と所属長の役職名を1月末までに連絡を依頼。

理事：樋口清孝 抄録の締め切りは1月末まで。2月20日ごろ発送。

理事：寺島洋一 第3回卒後教育講座の題名を「救急医学における救急撮影認定技師の役割 救急医学の求めるもの」に変更。

議長は第6号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第7号議案 技師会所属研究会活動状況について

議長：小黑 清 資料に基づき報告する。

マンモグラフィ研究会は休会。

消化管撮影研究会については、次の代表者の選出を模索中なので、理事柏崎克彦が次回理事会までに詳細を確認する。

議長は第7号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第8号議案 各地区表彰状況について

議長：小黑 清 資料に基づき報告する。

議長は第8号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第9号議案 各部・各地区報告

◎部会報告

事務局 業務執行理事：牧島正道 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

資料のとおり、新入会希望者4名の入会を認めて良いか諮りたい。

退会が2名。H29.3.31付で退会届が2名。

議長は入会希望者について諮ったところ、満場一致で4名の入会と4名の退会が承認された。

総務部 業務執行理事：須藤昌彦 特になし。

財務部 業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

会費納入状況（平成29年1月17日現在）

正会員 420/463名（90.7%）

未納者数1名 最終納入期限1月27日未納の場合3月末で除籍。

賛助会費未納社 富士フイルム RI ファーマ(株)
広告料未納社 伏見製薬(株)

第32回日本診療放射線技師学会の演題発表者7名に参加登録費8,000円の助成をQUOカードで行った。

各地区の卒後教育講座にかかった費用は、次回の理事会で支払う。

学術部

業務執行理事：吉成亀蔵 議長の求めにより報告する。

来年度の基礎講習は、「CT」で栃木県立がんセンターの萩原さんに講師の選任を依頼する。

広報部 理事：樋口清孝 議長の求めにより報告する。

あすたと41号を4月20日に発行。4月6日原稿締め切り。

各地区の第2回卒後教育講座の原稿を期限までに提出。

組織部 理事：柏崎克彦 特になし。

企画部 理事：三原健二 特になし。

地域医療対策部 理事：市川和秀 特になし。

JART女性サミット 理事：斎藤早苗 議長の求めにより報告する。

11月会議に出席した。内容は、女性活躍推進班の活動として関東甲信越大会で北関東として1演題の発表。それ以外でも活動をお願いされた。各県持ち回りなので栃木担当の場合は協力をお願いしたい。

◎各地区理事活動報告

1地区 理事：樋口清孝 第2回卒後教育講座を2月17日国際医療福祉大学で開催。

「読影の基礎 消化器（肝疾患）」

2地区 理事：斎藤早苗 第2回卒後教育講座を2月4日獨協医科大学病院で開催。

「会員発表 メーカー講演」

3地区 理事：池田卓義 第2回卒後教育講座を2月9日済生会宇都宮病院で開催。

「読影補助に向けて 頭部病変（前回の復習）と血管病変」

4地区 理事：三原健二 第2回卒後教育講座を2月4日佐野市民病院で開催。

「胸部 経時差分&肋骨減弱 紹介資料」

5地区 理事：斎藤 稔 第2回卒後教育講座を2月16日とちぎメディカルセンターしもつがで開催。

「東芝CT情報～ AquilionONE GENESIS テクノロジー」

議長は第9号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第10号議案 業務執行理事報告

業務執行理事：柳沢三二郎 特になし。

業務執行理事：福田敏幸 欠席。

業務執行理事：牧島正道 特になし。

業務執行理事：須藤昌彦 特になし。

業務執行理事：金田幹雄 特になし。

業務執行理事：吉成亀蔵 特になし。

議長は第10号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第11号議案 その他（報告事項と確認事項等）

議長は、その他について諮ったところ特になく、以上本日の議案が満場一致にて承認されたことを確認した。

議長は、本日の平成28年度第3回理事会における議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降壇した。

議長：小黒 清 閉会を宣し、午後7時45分散会した。



平成28年度 第4回 理事会議事録(抄)

日 時：平成29年3月5日(日) 午後4時40分 場 所：獨協医科大学 関湊記念ホール会議室
 出席者：(理事) 小黒 清、柳沢三二郎、福田敏幸、牧島正道、樋口清孝、金田幹雄、吉成亀蔵、
 柏崎克彦、寺島洋一、斉藤 稔、須藤昌彦、池田卓義、佐藤祐二、三原健二、
 市川和秀、斎藤早苗
 (監事) 茂木常男、神山辰彦

開会の経過

定刻に至り、議長小黒清 開会を宣する。

議長：小黒 清 本日の理事会は、法定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議事録作成人の選任方法を諮ったところ、満場一致をもって理事斉藤稔が選任された。また議事録署名人は本会定款第34条の規定により、会長小黒清、監事茂木常男、監事神山辰彦が選任された。

第1号議案 平成28年度第3回理事会議事録の承認並びに会長報告

議長：小黒 清 平成28年度第3回理事会議事録の承認を求める。

議長は平成28年第3回理事会議事録の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

会長報告

2月9日 栃木県生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診委員会参加報告(栃木県立がんセンター)

各市町村で行われているがん検診の実施状況、方法、精度管理と今後の展望の説明が行われた。

第2号議案 役員選挙の公示について

議長：小黒 清 平成29年度平成30年度役員選挙公示について、一般社団法人栃木県診療放射線技師会定款第20条及び第24条に基づき役員選挙を公示した。役員の数数は理事が13名以上18名以下、監事は2名、立候補推薦の届出のメ切は4月27日17時必着。

第3号議案 平成29年度事業計画(案)と収支予算(案)について

平成29年度事業計画(案)について

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

業務執行理事：須藤昌彦 資料内の文言の誤字、脱字、表現のゆらぎについては総務部で修正を行う。

平成29年度収支予算(案)について

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより資料に基づき報告する。

議長は平成29年度事業計画(案)と平成29年度収支予算(案)の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第4号議案 各部・各地区報告について

◎部会報告

事務局 業務執行理事：牧島正道 議長の求めにより資料に基づき報告する。

2月27日現在会員総数461名、退会1名、退会届2名、転出1名、日本診療放射線技師会に会費免除申請4名(出産育児のため4名)。

総務部 業務執行理事：須藤昌彦 議長の求めにより報告する。

第5回の業務執行理事会議事録の確認をお願いする。平成29年度スケジュール表を添付した。第13回学術研究発表会の日程の変更を考慮していただきたい。栃木県放射線科医会水沼会長より、毎年2月の第一土曜日はラジオロジーセミナー開催のため、技師会のスケジュールを調整いただきたいとの申し入れがあった。

財務部 業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより資料に基づき報告する。

会費納入状況、正会員432名/461名(93.7%)、賛助会員14社/14社(100%)、広告料15社/15社(100%)、平成29年度会費請求は例年通りJARTから合算請求で行う。本会だけの会員は、本会で請求する。JARTからの請求書発送は3月15日、口座引落は4月6日。第12回学術研究発表会座長謝礼として、3,000円のクオカード進呈した。技師会活動を行った場合は、必ず経費と旅費の請求をお願いしたい。尚、決算の都合上、請求は3月31日までにお願いする。

学術部 業務執行理事：吉成亀蔵 議長の求めにより報告する。

今回の学術研究発表会の反省点として、役員全員が集合してから役割分担を決め、会場設営をしたほ

うが良いと思う。発表は時間内に終了しても座長の質問時間が長くなる傾向があったので、座長にお願いし時間内で終了するようにする。受付の締切時間を設けるか検討。発表前に発表者がプロジェクターの試写の検討。今後も日本診療放射線技師学会大会、関東甲信越診療放射線技師学会大会発表者の演題発表をお願いする。今回の参加人数は会員 107 名、賛助会員 11 名、非会員 2 名、学生 15 名、合計 135 名。広報部 理事：樋口清孝 議長の求めにより報告する。

次回のあすたーとは 4 月 20 日(木)発行予定。各地区の卒後教育講座の原稿を 4 月 6 日(木)までによろしくをお願いしたい。会員の随筆、紀行文等あれば原稿をよろしくをお願いしたい。

組織部 理事：柏崎克彦 特になし。

企画部 理事：三原健二 特になし。

地域医療対策部 理事：市川和秀 特になし。

JART 女性サミット 理事：斎藤早苗 議長の求めにより報告する。

会員のなかで JART 女性サミットに参加協力できる会員を各地区で人選して欲しい。次回理事会で決めて欲しい。

◎各地区理事活動報告

第 1 地区 理事：樋口清孝 第 2 回の卒後教育講座 2 月 17 日国際医療福祉大学で行われた。

第 2 地区 理事：斎藤早苗 第 2 回の卒後教育講座 2 月 4 日獨協医科大学病院で行われた。

第 3 地区 理事：池田卓義 第 2 回の卒後教育講座 2 月 2 日済生会宇都宮病院で行われた。

第 4 地区 理事：三原健二 第 2 回の卒後教育講座 2 月 4 日佐野市民病院で行われた。

第 5 地区 理事：斎藤 稔 第 2 回の卒後教育講座 2 月 16 日とちぎメディカルセンターしもつがで行われた。

議長は第 4 号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第 5 号議案 業務執行理事報告

業務執行理事：柳沢三二郎

選挙の公示をホームページに掲示した。

会長挨拶をホームページに掲示する。

業務執行理事：福田敏幸

来年度の学術研究発表会の会場について、済生会宇都宮病院の新しい講堂も使用可能である。6/10(土)技師長サミット会場について、ニューイタヤとニューみくらを仮予約しているので決定次第、一方をキャンセルする。

業務執行理事：牧島正道

部会報告で述べた通りである。

業務執行理事：須藤昌彦

部会報告で述べた通りである。

業務執行理事：金田幹雄

部会報告で述べた通りである。

業務執行理事：吉成亀蔵

部会報告で述べた通りである。

議長は第 5 号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第 6 号議案 その他（報告事項と確認事項等）

業務執行理事：福田敏幸 日本診療放射線技師会の選挙管理委員として報告する。今回の代議員の立候補 3 名、会長、牧島理事、吉成理事、補欠の立候補は柳沢副会長で本県の定数 3 名で代議員に決定した。

議長：小黒 清 消化管撮影研究会の代表世話人は那須中央病院の須田富仁氏に決定した。

議長：小黒 清 統一講習会の受講を増やすため各病院の医療安全部署あてに日本診療放射線技師会長と連名の文書を送付したい。

・造影剤副作用カードについて、とちぎメディカルセンターしもつがの松田技師長から技師会で取り組んではどうかと提案があり、業務執行理事会で取り組み方を検討し理事会に提案することとする。

監事：神山辰彦 議事録の業務執行理事報告が「特になし」となっているが、業務執行理事会などの活動を行っているのだから、「部会報告で述べた通り」や「報告済み」としたほうがよい。

議長はその他について諮ったところ特になく、本日の議案がすべて承認されたことを確認した。

議長は平成 28 年度第 4 回理事会における議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降壇した。

議長：小黒 清 閉会を宣し、午後 5 時 55 分散会した。

会の動静

- 7/19 栃木県生活習慣病検診等管理指導協議会が
ん検診委員会〈小黑会長〉
(栃木県立がんセンター)
- 7/20 第4回理事会 (獨協医科大学病院)
- 7/25 南那須地区公衆衛生協会総会〈田所〉
(栃木県南那須庁舎)
- 8/10 あすたーとVol.42発行
- 9/5 第1地区幹事会〈樋口理事・吉成理事・郡
司幹事・岡野幹事〉 (国際医療福祉大学)
- 9/7 第3回業務執行理事会 (獨協医科大学病院)
- 9/17・18 第6回業務拡大に伴う統一講習会
(獨協医科大学病院)
- 9/22~24 第33回日本診療放射線技師学術大会
(函館市民会館・函館アリーナ)
- 9/23 地域委員会 (全国会長会議)〈小黑会長〉
(函館市民会館)
- 9/28 第1回第4地区卒後教育講座 (足利赤十字病院)
- 9/30 会費納入締切
- 10/3 栃木県生活習慣病検診等管理指導協議会が
ん検診委員会〈小黑会長〉
(栃木県立がんセンター)
- 10/14 第1回第2地区卒後教育講座
(獨協医科大学病院)
- 10/20 第1回第1地区卒後教育講座
(国際医療福祉大学)
- 10/29 診療放射線技師基礎技術講習「X線CT検査」
(獨協医科大学)
- 11/8 第1回第3地区卒後教育講座
(済生会宇都宮病院)
- 11/9 第1回第5地区卒後教育講座
(とちぎメディカルセンターしもつが)
- 11/11 第2回卒後教育講座 (獨協医科大学病院)
第5回理事会 (獨協医科大学病院)
- 12/2 第2回日本診療放射線技師会北関東地域役員
(拡大会長会議) 教育委員合同会議
〈小黑会長・柳沢副会長・吉成教育委員〉
(大宮ソニックシティ)
女性活躍推進委員会北関東地域会議〈塚田〉
(大宮ソニックシティ)
- 12/9 第4回業務執行理事会 (本会事務所)

会員の動静

会員総数 489名 (平成29年12月15日現在)

第1地区 79名 第2地区 106名

第3地区 150名 第4地区 59名

第5地区 95名

入会

1132/66665 中山 裕貴 倉持整形外科・内科今宮

1133/66723 坂本 綾子 国際医療福祉大学病院

1134/66730 岡野 翔子 国際医療福祉大学病院

1135/66731 中村 友哉 済生会宇都宮病院

1136/66749 大河原夏美 社会医療法人中山会 宇
都宮記念病院

1137/66750 加藤 任文 国際医療福祉大学病院

1138/66788 郷間 紫一 上都賀総合病院

1139/66811 大江 歩 自治医科大学附属病院

1140/66859 坂本 将規 獨協医科大学病院

1141/66879 中山 優 小金井中央病院

1142/66932 平塚 竜司 国際医療福祉大学病院

1143/66965 松本 歩 那須中央病院

1144/67021 川田 裕己 石橋総合病院

1145/67054 手塚 友也 石橋総合病院

1146/67073 本岡 由衣 石橋総合病院

1147/67074 神保 晋 宇都宮第一病院

1148/67106 五月女 敦 獨協医科大学日光医療センター

1149/67107 赤羽根靖博 社会医療法人中山会 宇
都宮記念病院

1150/67193 野中 悠平 宇都宮セントラルクリニック

1151/67210 石川 知里 済生会宇都宮病院

賛助会員 キヤノンライフケアソリューションズ株式会社

退会

645/26437 中山 恵弘 (逝去)

860/50829 伊井 麻美

転出

705/44175 滝吉浩太郎 東京都へ

513/31934 加藤 英樹 群馬県へ

変更

名称 池田脳神経外科 → 鹿沼脳神経外科

ご結婚おめでとうございます

平成29年5月6日 渡邊 陽介 (栃木県立がんセンター)

平成29年6月吉日 倉持南美子 (旧姓 佐々木)
(国際医療福祉大学塩谷病院)

お悔やみ申し上げます

平成29年4月22日 ご尊父様 久保田建夫
(足利赤十字病院)

平成29年8月9日 中山 恵弘様

平成29年8月24日 ご尊父様 栗田 聡文
(済生会宇都宮病院)

平成29年11月8日 ご尊父様 山下 明
(那須赤十字病院)

表彰

●厚生労働大臣表彰 診療放射線業務功労

小黑 清 獨協医科大学病院

●日本診療放射線技師会永年勤続表彰

・勤続50年功労表彰

梅野 一雄 飯田病院

・勤続30年功労表彰

新井 和浩 獨協医科大学病院
幸田 好弘 栃木県保健福祉部健康増進課
吉成 亀蔵 那須赤十字病院
亀田 卓世 獨協医科大学病院
大貫 信春 菅間記念病院
坂元 一吉 荒井胃腸科外科
牧島 正道 栃木県立がんセンター

●栃木県診療放射線技師会会長表彰

・勤続35年功労

中村 克巳 獨協医科大学病院
岩崎 博明 開成整形外科病院
郷間 博史 吉川整形外科
大関 良江 日産自動車健康保険組合栃木地区診療所
大武 正男 矢板南病院
久保田建夫 足利赤十字病院
福田 敏幸 済生会宇都宮病院
五十嵐 剛 新小山市市民病院
武藤 美子 芳賀赤十字病院
伊勢 晶子 福田記念病院

・勤続20年功労

山崎 友希 獨協医科大学病院
樋口 清孝 国際医療福祉大学
長瀬 光臣 足利赤十字病院
碓間しのぶ
小池 明宏 福島整形外科病院
岡崎 和也 倉持整形外科・内科今宮
大築 慎一 済生会宇都宮病院
室井 悟 済生会宇都宮病院
伊藤 愛子 済生会宇都宮病院
田口 智亮 ホンダエンジニアリング㈱健康管理センター
加藤 美幸

●公衆衛生大会表彰

①第57回栃木県公衆衛生大会

○知事表彰

高野美登志 今市病院
山田 隆幸 芳賀赤十字病院
中沢 武夫 済生会宇都宮病院
関口 智哉 獨協医科大学病院

○大会長表彰

吉成 亀蔵 那須赤十字病院
増井 宏美 菅又病院
坂元 一吉 荒井胃腸科外科
簾谷 和男 足利赤十字病院
澤井 宣元 佐野厚生総合病院
増渕 二郎 自治医科大学附属病院

②各地区公衆衛生大会

○県北健康福祉センター所長・大田原地区公衆衛生協会会長表彰

小西 真 国際医療福祉大学病院

○今市健康福祉センター所長表彰

関口 尋子 獨協医科大学日光医療センター

○宇都宮市公衆衛生事業功労市長表彰

百武 達峰 比企病院

○芳賀郡市公衆衛生大会長・県東健康福祉センター所長表彰

高橋 伸彰 芳賀赤十字病院

○小山地区公衆衛生大会長・県南健康福祉センター所長表彰

盛満 寛乃 自治医科大学附属病院

佐田 睦 自治医科大学附属病院

○栃木地区公衆衛生協会長・栃木健康福祉センター所長表彰

秋山 泰徳 とちぎメディカルセンターとちのき
今野 智司 獨協医科大学病院

平成 29 年度 活動予定表

平成30年

- 1/ 9(火) 会誌109号発行
2/ 8(木) 第2回第5地区卒後教育講座
2/10(土) 第3回卒後教育講座
第6回理事会
2/16(金) 第2回第1地区卒後教育講座
2/19(月) 第13回学術研究発表会抄録集発行
2/24(土) 第2回第2地区卒後教育講座
2/27(火) 第5回業務執行理事会
2/28(水) 第2回第4地区卒後教育講座
3/11(日) 第4回卒後教育講座・第13回学術研究発表会
第7回理事会

賛助・広告会員一覧

- 富士フイルムメディカル株式会社
 - 日本メジフィジックス株式会社
 - 東芝メディカルシステムズ株式会社
 - 栃木放射線株式会社
 - 富士フイルム R I ファーマ株式会社
 - G E ヘルスケア・ジャパン株式会社
 - エーザイ株式会社
 - 株式会社島津製作所
 - 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
 - 第一三共株式会社
 - カイゲンファーマ株式会社
 - ケアストリームヘルス株式会社
 - 株式会社邦商
 - 株式会社日立製作所 ヘルスケア宇都宮営業所
 - シーメンスヘルスケア株式会社
 - バイエル薬品株式会社
 - コニカミノルタジャパン株式会社ヘルスケアカンパニー
 - 株式会社ドクターネット
 - 富士製薬工業株式会社
 - 伏見製薬株式会社
 - キヤノンライフケアソリューションズ株式会社
- (順不同)

編集後記

■ 新年、明けましておめでとうございます。2018年（平成30年）の干支は“戌”ですが、“戌”には「滅（めつ、ほろぶ）」という意味もあることは知っていましたか？ このご時世なので少し驚いてしまいますが、次のステップへ進むための準備期間という意味のようです。

■ 昨年は函館で開催された日本診療放射線技師学術大会ですが、今年は下関（山口県）で開催されます。栃木県から多くの演題がでてくることを期待し、皆さんと一緒に下関の町を楽しみたいと思います。

■ 卒後教育講座では「画像診断学の基礎」をシリーズで開催してきました。今後、高度な人工知能（AI）が医療にも導入されることは必至であり、診療放射線技師による読影の補助はどうあるべきかを今一度、考える必要がありそうです。

■ 会誌の内容については充実を図りたいと思っています。会員の皆さまからの投稿も大歓迎ですので、情報提供や話題提供などお寄せいただきたく、お願いいたします。

一般社団法人 栃木県診療放射線技師会編集委員会

委員：樋口清孝、池田卓義、須藤昌彦、高橋伸彰

一般社団法人 栃木県診療放射線技師会会誌 No.109

Journal of Tochigi Association of Radiologic Technologists

平成30年1月9日発行

編集 一般社団法人 栃木県診療放射線技師会編集委員会

発行人 小黒 清

発行 一般社団法人 栃木県診療放射線技師会

〒320-0032 宇都宮市昭和1-3-10

栃木県庁舎西別館404

TEL・FAX 028-625-7979

<http://www.tartnet.com/>

E-mail tart@ce.mbn.or.jp

銀行振込：足利銀行本店（普通）1785921

郵便振替：00340-3-35730

印刷所 藤崎印刷株式会社 TEL 028-633-4530